

千人塚公園 城ヶ池

戦国時代の戦乱の伝説地

千人塚のある土地は、数万年前、岩間断層の上側に形成された変位丘陵の凹地を利用して造られた台地である。1933(昭和8)年秋着工、翌春一期工事終了湛水開始、1939(昭和14)年完成。当時としては大規模な工事の末出来上がった灌漑用ため池。以後、このため池で温められた水が水田を潤すようになった。池の築造は、当時政府が国内で進めていた農村経済更正事業により展開されたもので、恐慌対策および失業者の救済目的も兼ねていた。2010(平成22)年、全国ため池百選に選定。



公園からは南駒ヶ岳などの中央アルプスの高峰が間近に望め、桜の名所にもなっている



ため池百選に選定

information

- アクセス
駒ヶ根ICから10km
車→20分
- 所在地
飯島町七久保



千人塚の由来

『戦国時代に山城があったが、織田軍の侵攻により落城し、その際に亡くなった兵士やその武具などがこの場所に埋められた。そこから「千人塚」と呼ばれるようになった』という伝承がある。

岩間断層

飯島町高尾台から千人塚台地まで長さ5km、山ろく直下を直線的に走る断層。中央自動車道は岩間断層に沿っている。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)